

ミロのヴィーナス

# Vénus de Milo



ルーヴル美術館

# Musée du Louvre

別冊 **PARIS** Flâner dans Paris, France  
ぶらりパリ市内







ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 Musée du Louvre



ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 Musée du Louvre





ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 *Musée du Louvre*



ミロのヴィーナス Vénus de Milo ルーブル美術館 Musée du Louvre



ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 Musée du Louvre







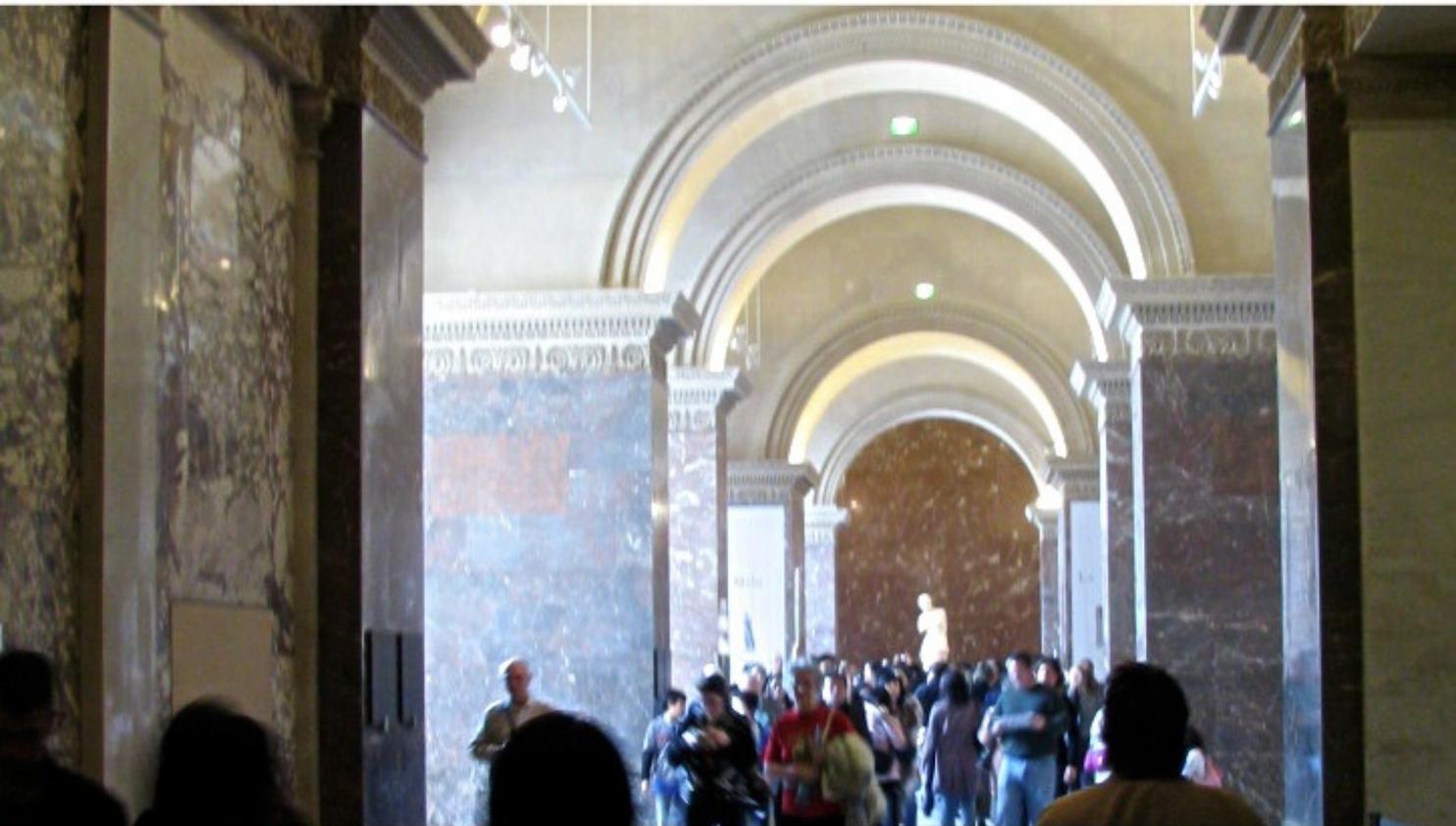




ミロのヴィーナス Vénus de Milo ルーブル美術館 Musée du Louvre



ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 Musée du Louvre



## ミロのヴィーナス *Vénus de Milo* ルーブル美術館 *Musée du Louvre*

ミロのヴィーナス(フランス語: *Vénus de Milo*, 英語: *Venus of Milos*, ギリシア語: *Αφροδίτη της Μήλου*)は、古代ギリシアで制作された彫刻の女性像で、ギリシア神話におけるアフロディーテの像と考えられている。高さは203cm。材質は大理石。紀元前130年頃にアンティオキアのアレクサンドロスと呼ばれる、その名以外の素性が不明の彫刻家によって作成されたと考えられている。1820年4月8日に小作農であったヨルゴス(Yorgos)によって、オスマン帝国統治下のエーゲ海のアロソス島で発見された。彼は最初、官吏に見つからぬようにヴィーナス像を隠していたが、トルコ人の官吏に発見され没収された。後に、フランス海軍提督ジュール・デュモン・デュルヴィルは、この像を見て価値を認め、フランス大使に頼みこんでトルコ政府から買い上げた。これは修復された後に、ルイ18世に献上された。ルイ18世は、これをルーヴル美術館に寄付し、現在でもそこで管理されている。以後、ルーヴルを出て海外へ渡ったことはただ1度、1964年4月～6月に日本の東京(国立西洋美術館)および京都(京都市美術館)で行われた特別展示のみである。1900年頃にルーヴルで一度だけ型取りされており、現在もその型を元にレプリカや縮小モデルが作られている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ミロのヴィーナス>

ルーブル美術館 | 古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術 | ヘレニズム時代のギリシア美術 (前3-前1世紀)

[アフロディーテ | 通称「ミロのヴィーナス」](#)

1820年のメロス島での発見よりこの神像は、その優美さとその解釈を巡るなどにより人々を魅了している。この作品は、頻りに半裸で表現されているアフロディーテ、もしくはミロで崇拜されていた海の女神アンフィトリテを表現したのである。この彫像は、ヘレニズム時代末の彫刻家の研究を反映している。クラシック時代の反映に満ちたこの作品は、その螺旋状の構成、空間の中への人物像の挿入、腰の鬘の滑りにより革新している・・・

ルーブル美術館 | [ミロのヴィーナスのギャラリー](#) | [ヴァーチャルツアー](#)

この像は愛の女神を表したもので、1820年にギリシャのメロス島で発見された。ギリシャの彫刻家は、高貴さと官能性を合わせ持った女性の体を表現しており、その完成された技術ゆえにこの像は名高い。左脚を持ち上げた姿勢にも上体のひねり

にも、動きの追求が見てとれる・・・

ルーブル美術館 | [ミロのヴィーナスのギャラリー](#) | [ヴァーチャルツアー](#)

この部分は建築家フォンテーヌが全面的に改装し、16世紀以来この場所を占めていた王妃の居室に代わって、古代美術の展示空間となった・・・

ルーブル美術館 | オフィシャルサイト・日本語

<http://www.louvre.fr/llv/commun/home.jsp>

メゾン・デ・ミュゼ・ド・フランス | Maison des Musées de France | ルーブル見どころガイド

[http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0508/museum\\_0508\\_2.html#0](http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0508/museum_0508_2.html#0)

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)

---

*Copyright © guchini All Rights Reserved*